

年 月 日

消防署長 様

住所  
 申告者 職業(職) 電話  
 氏 名

車両・船舶・航空機罹災申告書

1	罹災年月日	年 月 日	罹災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者					
	罹災場所								
2 車 両	運転者氏名			購入年月					
	用途別			購入金額					
	車両番号			年 式					
	焼 け た 箇 所		消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所			そ の 他			
3 船 船 ・ 航 空 機	船長・機長名			船名・機名					
	用途・機種			就航年月					
	トン数・駄数			購入金額					
	焼 け た 箇 所		消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所			そ の 他			
4 積 載 物	品 名	数量	罹災別	購入年月	購入単価(円)	損害見積額(円)	※残存率	※消防機関算定額	
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
			焼・消・爆						
5	火災保険契約会社名				保 険 金 額				

※印の部分は、記入しないでください。

## 備 考

- 1 この申告書は、消防法第 34 条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、罹災した日から起算して 7 日以内に提出してください。

### 【記 載 要 領】

- (1の欄) 罹災物件と申告者との関係の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。また、罹災した場所の欄は、火災になった場所を記入してください。
- (2の欄) 用途別の欄には、自家用車、貨物、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
- (3の欄) 用途・機種欄には、客船、貨物船、旅客船、旅客機、観測機などの別を記入してください
- (4の欄) 1 品名、数量の欄は、品名ごとに数量を記入してください。  
2 罹災別の欄は、次によりあてはまるものを○で囲んでください。  
・焼：火災、受熱等によって焼けた、壊れた、煤けた、溶けたりしたものなど  
・消：消火のために壊れた、濡れた、汚れたものなど  
・爆：爆発により、壊れたものなど  
3 損害見積額の欄は、罹災した物件の時価を基準として、被害の程度により損害額を見積もってください。
- (5の欄) 車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。